

第48回全国高等学校柔道選手権大会石川県大会 実施要項

- 1 主 催 石川県柔道連盟
- 2 共 催 石川県教育委員会 石川県高等学校体育連盟
- 3 後 援 北陸朝日放送 北國新聞社 朝日新聞金沢総局
- 4 主 管 石川県高等学校体育連盟柔道専門部
- 5 日 時 令和8年1月17日(土) 10:00～ 開会式 男子・女子個人戦
 公式計量 8:40～9:20(1回のみ)(女子は、団体・個人同時に行う)
 計量場所 男子: 柔道場、女子: 女子更衣室
 *男子は原則として上半身裸・短パンとし、女子はTシャツ・短パンとする。
 令和8年1月18日(日) 10:00～ 開会式 男子・女子団体戦
 *審判監督会議は両日とも9:30～(2F 師範室)
- 6 会 場 石川県立武道館 柔道場(金沢市小坂町西8-3 Tel076-251-5721)
- 7 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
 - (1) 団体試合
 - ア 試合時間は3分間とする。
 - イ 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
 - ウ チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「8競技方法」で定める。
 - (2) 個人試合
 - ア 試合時間は3分間とする。
 - イ 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
 - ウ 試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が1以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
 *「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
- 8 競技方法 (1) 団体試合
 - ア 男子の部
 - ①参加チームによるトーナメント戦で行う。
 - ②各チーム間の試合は、点取り試合とする。
 - ③試合は各チーム5名で行う。試合ごとのオーダーの変更を認める。
 - ④トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (イ) (ア)で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 *一本勝ちと相手の反則負けによる勝ちとは同等する。
 - (ウ) (イ)で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (エ) (ウ)で同等の場合は「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
 - (オ) (エ)で同等もしくは、「一本」、「技あり」、「有効」、「僅差」による勝ち数がそれぞれ同等の場合は、代表戦を行う。
 代表戦は代表選手を任意に選出で行う。代表戦の「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とし、試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が1以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
 *代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。

イ 女子の部

- ①参加チームによるトーナメント戦で行う。
 - ②各チーム間の試合は、点取り試合とする。
 - ③試合は各チーム3名で行う。試合ごとのオーダー変更は行わない。
 - ④トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (イ) (ア) で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
*一本勝ちと相手の反則負けによる勝ちとは同等する。
 - (ウ) (イ) で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (エ) (ウ) で同等の場合は「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
 - (オ) (エ) で同等もしくは、「一本」、「技あり」、「有効」、「僅差」による勝ち数がそれぞれ同等の場合は、代表戦を行う。
代表戦は「引き分け」対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。代表戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、「引き分け」対戦がない場合は、両者「反則負け」などで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。
*代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
- (2) 個人試合 (男子・女子)
- ア 体重別 (4階級) 及び無差別とする。
 - イ 試合は、トーナメント戦とする。

- 9 参加資格
- (1) 石川県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該学校長が参加出場を認知した者であること。
 - (2) 令和7年度、石川県柔道連盟を経て(公財)全日本柔道連盟に登録完了した者。
 - (3) 平成19年4月2日以降に生まれた者(令和7年4月2日現在、18歳未満であり、第1・2学年に在籍)とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混合は認めない。
 - (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - (6) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし一家転住などの場合で、石川県高等学校体育連盟会長が許可した者は、この限りではない。
 - (7) 選手は、あらかじめ健康診断を受け、学校長の承認を必要とする。
 - (8) 定通制の生徒が本大会に出場する場合は、定通制体育大会には出場できない。
 - (9) 特例 全国高等学校柔道選手権大会実施要項【5-(8)】並びに【大会参加資格の別途に定める規定】に準ずる。
 - (10) 脳振盪の対応について
 - ア 大会1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - イ 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
 - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - エ 当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
 - (11) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
 - (12) 各種感染症の感染防止対策について、参加者は主催者が定める感染症の予防措置を必ず遵守すること。なお、試合中に感染予防措置を遵守できない参加者には、参加の取り消しや途中退場を求めることがあり得る。

10 参加制限 (1) 団体試合

ア 男子の部

- ① チームの編成は、監督1名・選手6名の7名とする。
- ② 選手は3名から5名でも良い。なお、3名もしくは4名の場合は、後ろ詰め(先鋒・次鋒もしくは、先鋒を空ける。)とする。

イ 女子の部

- ① チーム編成は、監督1名・選手3名・補欠2名の6名とする。ただし、補欠は2名に満たなくとも良い。
- ② 2名でのエントリーを認める。ただし試合当日、両チームとも2名での対戦となった場

合は、配列をそのままの順序で後ろに詰める(先鋒を空ける)。

なお2名同士の対戦後、勝ち上がった場合次の試合の配列はエントリー通りの配列とする。

- ③ 体重区分は次の通りとする。
先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別（体重の軽い者は重い階級に出場できる。）
なお、補欠は該当する階級に出場できる。
- ④ 計量に合格しない者は出場できない。（無差別も計量を行う）
※補欠に52kg以下の選手登録をしていない状態で先鋒を抹消する場合、及び補欠に63kg以下の選手登録をしていない状態で中堅を抹消する場合は、新たに登録する選手を直接、先鋒あるいは中堅に入れることができる。
- ウ 外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

(2) 個人試合

- ア 男子の体重区分は次の4階級(60kg級、66kg級、73kg級、81kg級)と無差別とする。
- イ 女子の体重区分は次の4階級(48kg級、52kg級、57kg級、63kg級)と無差別とする。
- ウ 計量に合格しない者は出場できない。（無差別も計量を行う）
- エ 女子は以下の階級に登録できる。
 - ☆団体・先鋒（52kg以下に登録した場合）
個人は、48kg級・52kg級・無差別のいずれかに登録できる。
 - ☆団体・中堅（63kg以下に登録した場合）
個人は、48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・無差別のいずれかに登録できる。
- カ 外国人留学生の参加人数制限はもうけない。

- 11 参 加 料 団体1チーム5,000円、個人戦一人1,000円（顧問会議で納入）
- 12 選手変更 所定の選手変更届用紙に記入し、学校長の承認印を捺印の上、審判・監督会議までに競技委員長へ提出すること。
- 13 補 助 員 津幡高校、鶴来高校の柔道部員
- 14 そ の 他
 - (1) 第48回全国高等学校柔道選手権出場資格
男子・女子団体優勝校、男子・女子個人戦各階級優勝者とする。
 - (2) 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて
 - ①参加申込書に記載された個人情報は、大会プログラムや試合会場内の掲示板に掲載されます。
 - ②競技結果（記録）等は報道機関により、新聞等（写真含む）で公開されることがあります。
優勝及び上位入賞結果は、次年度以降の大会プログラムに掲載されます。
 - ③参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応いたします。
 - ④選手、役員、観客のプライバシー保護のため試合会場及び周辺で撮影された写真、動画等のSNSへのアップロードを禁止します。
 - (3) 試合中の負傷等について、応急処置後は一切の責任は負いません。各所属で責任をもって傷害保険等の加入をお願いします。
 - (4) 男子個人試合で負傷をし、団体試合の選手を兼ねていた場合の選手変更について。
 - ①負傷後、直ちに大会ドクターの診断を受け、出場できないと判断された選手のみとする。
 - ②負傷当日中に、専門委員長まで申し出ること。
 - (5) 大会終了後に各種感染症の感染が確認されても一切の責任を負いません。
 - (6) 石川県柔道連盟のガイドラインにより開催を中止する場合があります。
 - (7) 試合運営に関わる書類をメールで配信することがあります、確認し各所属で対応して下さい。